

## こんなポスターやコマーシャルは 止めさせよう

### <公的ポスターは誰が作る？>

次刊行物  
 10.12.-7  
 個人市民情報センター



痴漢に注意



この看板は、「長崎くんち」で有名な諏訪神社下の地下道を深く進んでいくと おいてある。ポスターの絵のように女の子が犬の散歩をしに階段をおりて進んだ時に4カンがいるとすればもう手遅れなのです。だから 見出しを「痴漢に注意」といくら書いてもムダなのです。このポスターは、「注意したのに、ここを歩く被害者—性的暴力にあつた女性—が悪い」というポスターなのです。だから止めてもらいたいポスターの1つです。ばってん・うーまんの会からの提案は、

## 痴漢は犯罪です！

と、福岡県警のように キッパリ 書くか。

## 見ているよ あなたの行為 毒や子が—カンは犯罪者

と、家族愛的心情に迫るかです。いずれにせよ、加害者側（それはオトコ）がハッとするポスターを作ること 天下の公道さやかに寄りたいよネ  
 を公的機関に働きかけます。

## まだ あろゾ おかしい 公的コマーシャル

新聞やテレビで時折 お目にかかる **子ども110番** 新聞の  
 広告にはのっていないけれど テレビで見かける エッ!! おかしいゾ  
 のコマーシャルは、**みんな ボクの味方**やけんね、という呼び  
 かけです。公園や塾の行き帰りに誘拐 され、性的暴力を加えられ、  
 死に至らされているのは ほとんど 女兒の筈。実体からはずれている呼び  
 かけは止めてもらう。交通事故防止のポスター、少年の日のポスターなど  
 子ども名称の代表をすべてボクにしてしまう男社会のごう慢さが、今回、  
 目的の趣旨からはずれたものになっていることに気づいていない。

## 本当に変えることができるの?

できますとも。コマーシャルに限らず、今まで 男性優位社会の中で困  
 いたり、あきらめていたこと、いやだったことは、オンズ パーソンという  
 係に いうのです。先月号 “いま とても大切なとき、は、このことを  
 しているのです。社会に家庭に生きにくかった女性を強かにサポートする  
 「男女平等基本法(仮称)」が来春 制定されると、さらに キメ細かく、「地方基  
 本条例」が つくられる筈です。(行動計画のない地方では 皆、それを作る)  
 その時に、「苦情等の処理」係として オンズ パーソンが 必要なことを し  
 かり、バツバツ いいましよう。うかがうと「聞きおだけ」になりますから!

## 女性議員が入ったら大きく変わります

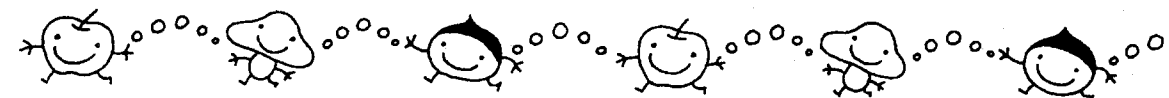
小柴/山口は3市に行動計画がある。宇部  
 市は市民が提案部会を作って行政に提案した。  
 そのモデルは新潟市の女性プラン。市民が提  
 案しても動かない行政に、女性議員が入っ  
 たら大きく変わった。市民の声を反映する議員  
 を選ぶ、女性を政策決定の場に送る大切さを  
 実感した。だが、女性は無所属が多く、議  
 会でいじめられるのが通例。女性たちのネット  
 ワークが必要である。

- 去る7月4日、新潟で開かれ  
 た 北京JAC 第3回 シンポジ  
 ムで、地域コカス パネルディス  
 カッションの際、北京JAC 山口  
 の代表、小柴久子さんが発言に  
 乗りました。題は、  
 「北京行動綱領を地域政策  
 で実現するために」

こんなことが言えたら  
 気持ちが良からうね

男性に偏りすぎるのは  
 如何なものか

今年の文化勲章は 男性5人 オンナ 0人  
 文化功労者は オンナ 1人 男性 15人。  
 これに対して、そろそろ いいたいね。  
 「女は何も出来ない」「仕事か家庭か、両立か」  
 などという かなたのジェンダーをはねのけて  
 立派な仕事を なしとげている人は多い。選挙の  
 基準を ジェンダーに配慮すれば、女性もたくさん  
 いる。女性半分、男性半分にすべき、といいた  
 い。男女共同参画社会をつくるための意識形成  
 への影響は大きい。



神奈川女性センター へ行ってきた

がさい ようこ (会員)

- 「全国女性史研究交流の集い」で9月初め「神奈川女性センター」(江ノ島)へ行った  
 ● あまりの立派さにびっくり。500人収容の大ホール、交流のための広い中庭、図書館  
 は89,799冊、雑誌は団体、グループ発行のミニコミ情報誌をふくめて864タイ  
 トル、資料としての「山川菊栄」文庫があり、書名・著者名・キーワードなどから検索  
 出来、女性問題関連の新聞記事(日本、海外)の閲覧、リサーチができる。女性関係  
 資料の収集、保存、分類にむけての取組みがあることが、とくにうらやましかった。  
 女性の人権保護の観点からのセクシュアル・ハラスメントその他の相談事業や、一時  
 避難のための宿泊設備もあった。

- シンポジウム「女性史を問う」で耳にしたコレダ!という言葉  
 歴史に女性の部分を付け加えるだけで良いのか? いけない!

事実の再定義、再解釈、  
 女の視点からの歴史の見直し  
 書かえだと思ふ。

数回自伝を書きかえた米の女流作家は、最後のものを「女の自伝元年」となづけ  
 た。怒りという感情を初めて表へ出したから。抑圧された感情である怒りを表へ  
 出して初めて、真実が書け、聞こえ、把握される。

女性という指定席の居心地の悪さから出発し、それを女性に与えた日本近代の枠  
 組みを告発するジェンダー史は闘いの歴史である。





## ベトナム女性博物館 (ハノイ) 池田玲子(会員)

今夏ベトナムに旅行した時、ハノイの市内地区に女性博物館があったのでワクワクして見学してきました。門のそばに入場券売場、(待て、無料だからもし、木陰にパンやのめもの売場がありました。

堂々と建物で四階建て、一人で自由に見学できる。



少数民族の女性の姿もきちんと展示してある。

全館を見学して感じたことは、女性はまさしく、天の半分を支えているという実感だった。小さい女の子でも、ここを見学したら、自分の性に誇りをもちたことだろうと確信した。



各階ごとに意の未づけがあったようだ。(ベトナム語がまるでわからないから、今までの経験でそう感じた) このコーナーでは、あらゆる分野で働いている姿がみえる。ホント、保育から生産、政治、学問はもちろんだ。芸能すべて。私でさえ、あゝ、こうして私たち女も国をつくり、支えているのだと、自分の性に誇りを感じた。

### 訂正箇所 NO.192より

女性議員をたくさんつくろうー中山島里美さんを招いてーの文中、②の箇所の下記の文章の訂正の申し出をご本人から受けていました。フアムで訂正いたします。

----- 1人を当選させるためには、最低3回は訪問する。きれいごとではだめ、つらい仕事と心得ることだ。

1人を当選させるためには、最低3回は訪問している政党もあるきれいごとではだめ、忍耐のいる仕事と心得ることだ。